

# 中部地方整備局への 要望書提出



一般社団法人日本道路建設業協会(三好武夫会長)と同協会中部支部(青野俊弘支部長)は5月29日、中部地方整備局に対し、道路整備に関する要望を行った。

三好会長が八鍬隆局長に要望書を提出し、公共事業予算の安定的な確保、道路の老朽化対策の推進と道路舗装メンテナンスの体系化、改正品確法に沿った新たな入札契約制度の導入について、道路建設業の担い手確保方策の推進の4項目を訴えた。

当日は、本部から三好武夫会長、水島和紀副会長、横田耕司副会長兼専務理事、小松逸朗常務理事、秋山均調査部長、支部からは青野俊弘支部長、斉藤克巳幹事長、對木宏志顧問、大場重明作業部会長、菊地滋之事務局長らが出席。整備局からは、八鍬隆局長、谷脇暁副局長、森山誠二企画部長、小野寺誠一道路部長、岡田武久技術調整管理官、田邊千秋道路情報管理官、事務局として森田

耕司特定道路工事対策官を始め6名が出席した。

その後、『道路建設業中期ビジョン2015』を紹介して、道路建設業が直面している担い手不足などの現状や課題について意見を交わした。



八鍬局長・要望書提出・三好会長